

Tokuyama College		Year	2018		Course Title	Psychology
Course Information						
Course Code		0161		Course Category	General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits	Academic Credit: 1	
Department		Department of Computer Science and Electronic Engineering		Student Grade	5th	
Term		Second Semester		Classes per Week	1	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書は定めない。適宜資料を配付するほか、参考書籍の紹介を行う。				
Instructor		Tokitsu Yuko				
Course Objectives						
1. 人間行動の背後にある、心理的メカニズムを考えられるようになる（心理学的な問題意識の獲得） 2. 基礎的な心理現象について知る（心理学的知識を得る） 3. 主体的な授業参加を通じて、学習項目への理解を深める						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目 1 心理学に関する基礎知識の習得		代表的な心理現象、重要概念など学習項目についての知識が内部で整理・体系化されており、それらを自分の言葉で的確に説明することができる。		代表的な心理現象、重要概念について、大まかに理解ができており、当該項目の名称を答えたり、その内容を正しく説明する記述を選ぶことができる。		代表的な心理現象、重要概念の名称や内容について知らない、理解できていない。
評価項目 2 授業への主体的参加		実験・ディスカッション等の課題に積極的に参加できている。自発的に質問したり、意見を述べる。注意深く仕上げられた課題を提出する。		授業内で行う実験・ディスカッション等に参加する。課題を提出する。		授業内で行う実験・ディスカッション等にまじめに参加しない。課題を提出しない。
評価項目 3 心理学的な問題意識の獲得		授業内で取り上げた事象だけでなく、自分の専門分野や日常生活に引きつけて問題を発見し、心理学的に考察することができる		授業内で取り上げた心理現象について、メカニズムを説明することができる		授業内で取り上げた心理現象について、メカニズムを説明することができない
Assigned Department Objectives						
到達目標 A 2 JABEE b						
Teaching Method						
Outline		心理学とはどんな学問だろうか。私たちの心まつわる謎は、病や性格に関するものだけではない。たとえば、苦労して覚えたことを忘れてしまうのはなぜだろうか。注意していても、交通事故や医療ミスはなかなか防ぐことができない。世の中には道を覚えるのが得意な人がいる一方で、方向音痴の人たちもいるのはなぜなのか。何かを見聞きしたり、考えたり、といった何気ない行動の裏側ではいつも、私たちの心にあるプログラムが働いており、こうした謎の答えもそこにあると考えられる。本講義では「行動科学としての心理学」という視点に立ち、私たちの様々な行動について、心理学的に理解するための方法や基礎知識について解説する（1～8回）。また、後半（9回～15回）では特に日常生活や産業と関わりが深い、応用的な研究事例についても取り上げていく。受講学生はこれらを通じて、「心理学的に考える」ことのアウトラインをつかみ、専門分野における学びや将来的に就く仕事の中で役立ててほしい。				
Style		各回ごとに定めたテーマについて、スライドと配付資料を用いて基本的な概念・現象の解説を行う。また、関連する実験や心理検査を実体験する機会を多く設けるので、受講生はそれらの課題に積極的に取り組むことで、理解を深めてほしい。授業終わりに作成するミニレポート(コメントペーパー)を通じて、学習内容の整理と知識の定着を図ることに努めてほしい。				
Notice		注意事項：この授業は、半期で完結。前・後期に同様の内容を実施。				
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	イントロダクション：心理学とはどのような学問か？	心理学が向き合う研究テーマ・領域の広がりと研究方法について理解する。		
		2nd	知覚	視覚の基礎メカニズム、知覚の恒常性と情報処理パラダイムについて理解する。		
		3rd	記憶①	記憶の基礎的なメカニズムについて理解する。		
		4th	記憶②	記憶の実践的な運用、学習場面での活用法について理解する。		
		5th	イメージ	イメージの機能と性質について理解する。		
		6th	注意	注意の機能と性質について理解する。		
		7th	社会と心理①	同調、傍観者効果など、集団心理の基礎的な現象について理解する。		
		8th	社会と心理②	リーダーシップと組織の心理について理解する。		
	2nd Quarter	9th	ビジネスの心理学	説得技法(セールステクニック)と広告をめぐる心理現象を理解する。		
		10th	視線の心理学	視線（眼球運動）の測定方法と研究事例について知る。		
		11th	犯罪捜査と心理学	プロファイリング、目撃証言、虚偽検出(ウソ発見)等の、犯罪捜査における心理学の活用について知る。		
		12th	ものづくりと心理学	ユーザビリティ、官能評価等、製品開発における心理学の活用について知る。		
		13th	ヒューマンエラーの心理学	交通事故、医療ミスの生起メカニズムと対策について理解する。		
		14th	ストレスとメンタルヘルス	代表的なストレス反応とその検査法、コーピング手法について理解する。		

		15th	期末試験				
		16th	答案返却など				試験講評と解説を行う
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0